

## 荒木 悠 「三泊五日」

Yu Araki *Three Days, Five Nights*

会期：2021年4月29日(木) - 5月31日(月) 9:00 - 17:00

休館日：5月11 - 14日 \*初日4月29日と5月15日のみ、12時から開館

会場：板室温泉大黒屋サロン

作家在廊予定日：4月29日、5月1, 5日

板室温泉大黒屋では、2021年4月29日(木)より5月31日(月)まで、美術家、荒木悠の個展、「三泊五日」を開催いたします。

荒木は世界各地での滞在制作を通して文化の伝播や異文化同士の出会い、その過程で生じる誤解や誤訳から生まれる可能性に強い関心を寄せています。特に近年手掛けている映像インスタレーションでは、歴史上の出来事と空想との狭間にある物語を編み出し、それを創造的に再現するような手法を展開。二つの領域のあいだを揺らぎ続けるような作品群は、展覧会形式にとどまらず各国の映画祭でも上映されており、国際的にも高い評価を得ています。

荒木は、幼少期と中学から大学卒業までの間をアメリカで過ごし、その後帰国し現在は東京を拠点に活動しています。世界各地を行き来することが多い自身の原体験を元に、本展「三泊五日」という日付変更線を超えたときの移動で起こる現象に着目し、時間、時空、時差の認識のズレから、展覧会を構成しています。日付変更線はよく見てみると都合よく区切られていることに気づきますが、荒木はそんな人間らしい恣意的な要素に惹かれると言います。本展ではこれまで諸外国での滞在制作や撮影などで旅をしてきた際の自身の航空券コレクションをリソグラフで拡大プリントし表装。また様々な現地にて撮りためてきた膨大なスナップの中から厳選した写真作品など、これまで映像で表現することの多かった二つの領域の間を行ったりきたりするような「揺らぎ」を物質に置き換えることを試みます。

昨年からのコロナ禍のなか、物理的な移動がままならなくなってしまった昨今ですが、板室の地にいながらも遠い国に想いを馳せ、展覧会を楽しんでいただけたら幸いです。本展覧会期間中、特別に板室温泉大黒屋から徒歩3分に併設する○△□ギャラリーにて、近作の《The Last Ball》(2019)、《密月旅行》(2020)の2作品を上映予定。また宿泊者には、荒木のこれまでの映像作品を厳選しご覧いただけるQRコードが配布されます。ご宿泊中に旧作もお楽しみいただけますのでこの機会にぜひご高覧いただけたら幸いです。

---

## 荒木 悠 YU ARAKI

1985年山形市生まれ。東京都在住。2007年ワシントン大学サム・フォックス視覚芸術学部美術学科彫刻専攻を卒業。2010年東京芸術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修士課程修了。2013年スペインのボティン財団主催タシタ・ディーン・ワークショップに参加。2017-8年ゲスト・レジデントとして韓国光州の国立アジア文化殿堂およびアムステルダムのライクスアカデミーに滞在。2018年には第47回ロッテルダム国際映画祭でタイガーアワードを受賞。また、美術の分野では2019年にヴィクトル・ピンチューク財団主催の第5回 Future Generation Art Prizeに世界公募数5800の中から最終候補の1人に選出され、第58回ヴェネチア・ビエンナーレ公式関連展にも出品。板室温泉大黒屋では、小山登美夫ギャラリーでのバイト時代に「廣瀬智央展」(2009年)と「渡辺豊展」(2010年)の設営をサポートをした経験がございます。

### 個展

- 2014 WRONG TRANSLATION The Container (東京)
- 2014 MOTHERLANDS 実家 JIKKA (東京)
- 2016 複製神殿 | TEMPLE OF THE TEMPLET アートギャラリー1 横浜美術館 (横浜)
- 2017 双殻綱：第一幕 | BIVALVIA: ACT I 無人島プロダクション (東京)
- 2018 LOST HIGHWAY (SWEDED) ボルボスタジオ青山 (東京)
- 2019 NEW APERITIF スプリングバレーブルワリー京都 (京都)
- 2019 ニッポンノミヤゲ | LE SOUVENIR DU JAPON 資生堂ギャラリー (東京)
- 2019 RUSH HOUR CAI 現代芸術研究所 / CAIO2 (札幌)

### 主なグループ展

- 2016 クロニクル、クロニクル! CCO Creative Center Osaka (大阪)
- 2016 岡山芸術交流 2016: Development 旧後楽館天神校舎跡地 (岡山)
- 2018 視覚芸術百態：19のテーマによる196の作品 国立国際美術館 (大阪)
- 2019 Future Generation Art Prize PinchukArtCentre / Palazzo Ca' Tron (キエフ/ヴェネチア)
- 2019 The Island of the Colorblind アートソングェ・センター (ソウル)
- 2020 Connections - 海を越える憧れ、日本とフランスの150年 ポーラ美術館 (箱根)
- 2021 距離をめぐる11の物語：日本の現代美術 国際交流基金 (オンライン)

### 主な賞歴

- 2018 第47回ロッテルダム国際映画祭タイガーアワード 受賞 (ロッテルダム)
- 2018 第20回 Videoex グランプリ 受賞 (チューリッヒ)
- 2018 第35回 Kassel Documentary Film and Video Festival 審査員特別賞 (カッセル)
- 2019 ヴィクトル・ピンチューク財団第5回 Future Generation Art Prize ファイナリスト (キエフ)



---

### お問い合わせ

板室温泉大黒屋

TEL 0287-69-0226 FAX 0287-69-0497 E-mail onsen@itamuro-daikokuya.com

〒325-0111 栃木県那須塩原市板室 856 website www.itamuro-daikokuya.com